

[ピラミッドからの話題]

豚コレラ発生後の防疫対応について (株)シムコのピラミッドの農場の場合)

園 田 昭 浩 (株)シムコ)

All about SWINE 56, 32-33

2018年9月、岐阜県で26年ぶりに豚コレラ(以下、CSF)が発生しました。海外旅行経験もなく、海外の労働者もない農場で何故、突然発生したのでしょうか。当初、この農場の周囲には死亡した野生イノシシが発見され、CSFのウイルスが分離されています。1件目の発生以降、愛知県、長野県、三重県、滋賀県、福井県など中部地方を中心に次々と感染農場が摘発され、また、CSF陽性野生イノシシも確認されるようになりました。2019年6月11日に岐阜県高山市でCSF陽性野生イノシシが発見されてから(富山県境30km)、これまで以上に防疫の強化を行なってきましたが、2019年7月27日富山県富山市内で死亡している野生イノシシが発見され、7月30日に国の検査でCSF陽性と確定されました。弊社のGGPセンターから6.4kmのところであり、この時点で当センターは監視対象農場となりました。

2019年6月11日以降、更なる防疫対策の強化を図ってきましたのでその内容を紹介します。

- ①農場周囲フェンス内外と道路への石灰の散布。
雨天以外は毎日散布
- ②農場周囲フェンスの破損箇所の修繕と再チェック。現在は防護ネットを2重張り
- ③部外者の入場制限と入場前の行動確認、注意事

項の説明

- ④物品の搬入の制限と消毒・燻蒸の徹底
- ⑤野生動物の侵入防止および駆除(イノシシ、ネズミ、カラス、タヌキなど)
 - ・施設内への鳥等の進入防止
防鳥ネットやインレットの補修、壁等の破損箇所(穴等)の確認と修理の徹底
 - ・防鼠対策
月2回の業者駆除と従業員による毎日の粘着トラップ設置、まきびし対策等
 - ・餌タンク下のこぼれ餌放置厳禁
- ⑥豚舎周囲および敷地内の除草、殺虫、石灰散布、整理・整頓・清掃の徹底
- ⑦従業員への注意喚起
 - ・危険地域(CSF発生地区、CSF陽性野生イノシシ発見場所など)への立ち入り自粛
 - ・従業員入場時の手順書再確認(うがい・手洗い、シャワー、パスボックス管理の手順)
- ⑧従業員の通勤ルートの変更
 - ・野生イノシシの死んでいた箇所が一部社員の通勤ルートになっていたため、周辺を通らないよう迂回ルートを指示。
- ⑨車輛の消毒
 - ・豚輸送トラック、飼料運搬車、工事車輛など

の消毒の強化と現場指導の徹底

⑩受け渡し場の消毒強化

・周辺道路と受け渡し場の石灰散布

⑪屠畜場への搬入日、時間の変更

以上の対策と、これまでの防疫管理を確実に継続することで、CSF ウイルスの侵入を許しませんでした。監視対象農場に指定されてから3ヶ月、2019年10月25日にCSFのワクチンが許可

され、接種を行いました。その後も毎日の観察で異常はみられません。

今回、弊社の1事業所がこのような事態になりましたが、他の事業所においても、同様の防疫対策を構築中です。現在、CSF対策は進行中ですが、アフリカ豚コレラについても厳重な注意が必要です。

防疫指針におけるワクチン接種推奨地域（経口ワクチン含む）の設定による効果を期待します。

